

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 静岡県裾野市
 本事業の担当部局名 子育て部子育て支援課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名		婚活イベント事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間		交付決定日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)		120,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	120,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		120,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費	
	総事業費	0	0	0	0	29,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	29,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	91,000	0	0	0	0	120,000	
	対象経費支出予定額	91,000	0	0	0	0	120,000	
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0		
○		※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 全国的な人口減少・少子高齢化に伴い、裾野市においても人口減少・少子高齢化が進んでおり、人口減少の急激な進行を抑制する必要がある。 継続事業として、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、ふじのくに出会いサポートセンターや商工会と連携し、出会いの場の創出や相談会を行う。 また、今年度より新たに、ふじのくに出会いサポートセンター会員登録料の全額補助制度を導入する。						
		<本個別事業の位置付け> 少子化が進行する中、「結婚を希望するが、出会いの機会が見つからない。」という要望があり、今後も増加していく可能性がある。安心して参加できるイベントが求められている。 そこで、市と民間事業者、ふじのくに出会いサポートセンターが連携し、婚活クッキング教室を開催する。企業訪問等により、対象となる方々に助成制度やイベントの周知を行い、結婚を希望する方が安心して婚活ができるまちづくりを目指す。						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	婚活クッキング教室	民間企業と連携し、婚活クッキング教室を開催。結婚を希望する男女10人ずつを募り、クッキングを通して交流を図る。教室の中でマッチング、及びふじのくに出会いサポートセンターのPRを行い、継続支援につなげる。また、企業訪問等により事業のPRを行い、結婚を希望する方が安心して婚活ができるまちづくりを目指す。 PR用一般消耗品 29,000円 婚活イベント業務委託料 91,000円					
	2							
	3							
		<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>						

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	健康診査(1歳6か月児、3歳児、妊婦、産婦)の受診率		%	<small>第5次裾野市総合計画(第5次)第21章 子育て支援 21-4 健康増進 21-4-2 健康診査</small>	<small>第5次裾野市総合計画(第5次)第21章 子育て支援 21-4 健康増進 21-4-2 健康診査</small>
	保育所待機児童数		人	第5次裾野市総合計画0人 (R6年度)	第5次裾野市総合計画0人 (R1年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.52 (H30～R4厚生労働省：R6公表値)	
	婚姻件数		件	180 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)	
婚姻率			3.66 (R4静岡県人口動態統計：R6公表値)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イベント参加者	人	20	—
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	90 (R7年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90 (R7年度)	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	90 (R7年度)	—
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					